

平成30年度事務事業外部評価の評価結果について

1. 目的 市が実施する事業の必要性や実施方法等について、庁内で実施している事務事業評価に加え、外部からの視点で事業の検証を行うことによる「改革力の強化」と評価の過程をオープンにすることによる「事業見直し過程の見える化」を行い、スリムで効率的な行政運営を推進するとともに、事業に対する行政の説明責任を徹底し、「職員の意識改革」を図るため、実施しました。
2. 実施方法 北杜市行政改革推進委員会委員がコーディネーター及び評価人として参加し、コーディネーターによる進行の下、評価人は市職員から事業説明を受け、質疑応答や議論を行った上で、評価を行いました。
3. 実施日 平成30年10月21日（日）

事業番号	事業名	担当課	評価人の意見・評価
1	住民基本台帳管理事業	市民課	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付を導入した場合、証明書の発行については窓口・自動交付機・コンビニの3本立てとなるが、整合性をとって円滑な運用をしていただきたい。また、窓口業務を通じての市民との接点は、引き続き大切にしていきたい。 ・コンビニ交付により利便性を高めることは、時代の流れであるが、利用を増やしてコストと窓口負担を抑える努力をしていただきたい。 ・コンビニ交付が可能となり便利になる場合にも満足せず、更なる市民サービスに努めていただきたい。 ・個人情報漏洩しない対策が必要である。
2	合併浄化槽設置費補助金	上下水道総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付後の合併浄化槽の管理についても、市できちんと指導いただきたい。 ・浄化槽の管理の必要性を、知らない場合もありうる。管理の周知を検討課題にしていきたい。 ・合併浄化槽の普及率を高める努力をしていただきたい。 ・定期的な点検を促す通知を出す際には「補助金を利用された方は点検が責務です」といった内容の文章を盛り込んでいただきたい。 ・既存住宅の単独浄化槽を合併浄化槽に移行させるために、補助金を活用すべき。
3	主要市道除雪作業委託事業	道路河川課	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、同じ内容の業者委託ではなく、地元が把握している危険箇所など発注内容をしっかりチェックしていただきたい。地域格差の解消に努めていただきたい。 ・担い手の確保が一番重要。企業の従業員や高校生などの力を借りてはどうか。 ・業者の負担が大きいため、市民への周知や報償、除雪機械の購入補助など、業者の意欲をかき立てるような前向きな工夫をしていただきたい。 ・市で担うには限界がある。地域住民の理解を得て、協力し合う体制を整えるべき。 ・除雪対象路線以外の道路をどうするか。高齢者や独居などの家庭にはフォローが必要であるので、対策をしていただきたい。
4	男女共同参画推進事業	企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容に更にアイデアを加え、大勢の方が関心を持つような事業を展開すべき。 ・何をすれば、啓発できるのかは難しい。各年齢層別の活動や職場への働きかけも重要。 ・取組を続けることにより、男女が同じ意識レベルになることが必要。 ・きっかけ作りに知恵を絞り、フォーラムへの参加率を上げ、住民の意識を高めていっていただきたい。 ・市がやっている全ての事業において、男女共同参画に取り組んでいただきたい。